

あいの風が育む「能登の里山里海」・「観光」・「輪島塗」ー三位一体の持続可能な発展を目指してー

石川県輪島市（2022年度選定）

1.地域の特徴と課題及び目標	世界農業遺産「能登の里山里海」に代表される豊かな自然に恵まれた輪島市は、人口・世帯数とも減少傾向が続いており、まちの活力低下が懸念されている。輪島市では、2022年度から2026年度までを計画期間とする「第2次輪島市総合計画（後期計画）」を策定し、輪島ブランドを全国に発信する、奥能登の中核都市にふさわしいまちづくりを推進することとしている。	2.関連するゴール 
3.取組の概要 (三側面をつなぐ統合的取組概要を含む)	“あい”の風は、日本海の沖合から吹く風のこと、あいの風を帆に受け日本海を往来する北前船が、輪島のまちに活力と文化の多様性をもたらし、「能登の里山里海」、「観光」、「輪島塗」の3つの特性を育んできた。この3つの「輪島らしさ」を三位一体のSDGs施策として推進、次世代に繋がる持続可能な発展を目指す。	
4.自治体SDGs推進等に向けた取組 - 世界農業遺産「能登の里山里海」に代表される、自然環境の保全と自然の恵みの継承 里山里海の豊かさ維持、再生可能エネルギー導入の研究 - 輪島の魅力を際立たせる自然・歴史的景観の保全活用 輪島らしい景観の保全・活用、伝統的街並み景観の魅力向上 「朝市」や「白米千枚田」など、多様な観光資源を活用したツーリズムの振興 滞在型観光都市への転換、輪島固有の資源を組み合わせたツーリズムの振興 - 世界に誇る「輪島塗ブランド」と漆器産業のさらなる強化 漆器産業全体の基盤強化、漆器産業担い手不足の解消、時代の変化に適応した商品提供	6.取組成果 - 資産価値の低下や水源涵養機能の向上、洪水・土砂災害等の自然災害による被害を拡大させないため、手入れ不足の森林に広葉樹を植栽。植栽を通じ、地元児童等に森林の果たす役割や大切さを理解してもらうことができた。 - 景観重要建造物及び景観重要樹木による修景整備事業に取り組み、地域のまちなみ景観に対する興味注目を集めることができた。 - 郷土芸能である御陣乗太鼓の無料実演を実施し、夜のにぎわいを創出することで、市内の宿泊客の増加を図り、交流人口の拡大とおもてなしの充実を図った。 - 若手漆器従事者の作品発表開催や勉強会の開催に対して支援を行い、資金や経験が少ない若手漆器従事者が作品の展示販売を経験できる機会増に貢献した。また、若手従事者とベテラン従事者の世代間交流にも寄与した。	
5.取組推進の工夫 - 行政体内部において、「輪島市SDGs庁内ワーキング」における進行管理の中で見直しを行い、「輪島市SDGs推進本部」で意思決定を行い、取組の加速化につなげている。 - 第2次輪島市総合計画(後期計画)といった各種計画へ反映している。	7.今後の展開策 - PDCAサイクルに基づき、行政体内部とステークホルダーとの連携により常時見直しを進め、自立的好循環の形成に努める。 - ステークホルダーとの連携協定において、「パートナーシップの構築」、「重点プロジェクトの推進」の2つの観点から、定期的に評価・検証し、行政体内部にフィードバックする制度を構築し、官民連携で自立的好循環の形成に努める。	
8.他地域への展開状況（普及効果）	観光パンフレット・ポスター・チラシなどの紙媒体、WEB・SNS等の活用、首都圏をはじめとする大都市圏域への出向宣伝や物産展への参加などを通じて、輪島観光の魅力为全国に情報発信している。	